

メモリアル かわら版

2009年 Vol. 1

発行

びわこメモリアルホール

栗東市林295-2

0120-440-075

葬儀アイテム紹介コーナー 第1回は【会葬礼状】です。

会葬礼状とは、喪主・喪家が参列していただいた御礼を申し上げるかわりに参列者ひとりひとりにお渡しする礼状のことです。以前は、葬儀終了後に郵送するかたちをとっていたようですが、今ではタオル等の粗供養と一緒に受付で渡されています。

○ 礼状の枚数ってどのように決めるの… ○

葬儀で悩まれる事のひとつです。礼状が足りないのは参列者に失礼にあたるので少し多めに注文されます。故人と遺族の交際範囲で考えますが、わからない時は年賀状の枚数がひとつの目安になります。家族葬で行う場合は少なくなります。葬儀後に不幸を知り、後で必要な事も多いようです。一般葬でも、香典を辞退されると預かり分（香典）が不要になり枚数は少なくなります。

○ 新しい試み ～オリジナル会葬礼状～○

『本日は故〇〇の葬儀に際し、わざわざ御会葬賜り誠にありがとうございます…』と決まり文句の文面が普通です。100歳の方が亡くなられても、小さい子供さんが亡くなられても名前以外は全く同じ文面です。メモリアルホールでは参列された方に“心を伝える、”という会葬礼状本来の意味を見直し、ひとりひとり内容の違った、その人に見合った会葬礼状をはじめました。

《参考文例》 障害を持った子が亡くなられた場合（実際の例ではありません）

『息子の笑顔は皆の心に安らぎをくれました』

障害をもって生まれ、言葉がでず、自分の意思を伝えることが難しかった息子ですが、そんなハンデを払拭するような、とってもいい笑顔をもっていました。息子が笑うだけでなんだか心がほっとしたものです。今となってはささやかな日常の一こまさえ大切な宝物…たくさんの思い出を残してくれた息子には心から感謝です。

平成〇年〇月〇日、コスモスが鮮やかに咲くこの日、静かに〇歳の生涯を閉じました。

（冒頭の一部です）

※ 定型文も従来通りできます。

葬儀の事前相談 いつでもどうぞ

～悩みや不安をなくしましょう～

「えっ！まだ亡くなってもないのに

葬儀の相談なんて思ってる方へ」

大切な人はいつまでも元気で長生きしてほしいと願っているのに、葬儀社を尋ねて葬儀の相談なんて…『そんな事したら、長生きするのも、逆にできなくなるで、縁起悪いで…』とこのように思うのは当然かもしれません。【葬儀＝死】の観念からして、健康で暮らしてる親や自分の葬儀など考えたくないものです。しかし、私も含めて命あるかぎりいつかは“死”がやってくるのです。

最近、毎週のようにいくつもの電気屋さんのチラシ広告をよくみかけます。欲しいものがある人は、どの店が一番安いのか見比べてみます。そして、いくつかの店に行って話しを聞きます。最終的に金額や対応の良さなど総合的に判断して一番気に入った店で購入される方が多いようです。人と電化製品を比較するのは大変失礼な話しですが、数年しか使わない電化製品は、3社も4社も店をまわって思案して決めるのに、多くのかたが、大切な人の最後の儀式を何の情報も調べず、葬儀社を比較することなく、行うなんて不思議に思えてならないのです。

しかし、ここ最近では以前に比べて、事前に相談に来る方が増えてきました。大変良いことだと思います。

いままで葬儀をしてきてひとつ確かなことがわかりました。

どこの葬儀社で葬儀をするにしても同じことがいえると思いますが事前相談された方のほうが、そうでない方よりも間違いなく“良い葬儀”になっています。



★事前相談して良い事！！★

- ① 葬儀費用が明確になり、金銭面での不安が解消する。（見積書をもろう）
- ② 葬儀の内容がわかり、検討することができる。
- ③ 葬儀の流れがわかり、気持ちに余裕ができる。
- ④ 現在の葬儀事情がよくわかる。（家族葬、散骨等）
- ⑤ 葬儀担当者と顔を合わせた事で安心できる。
- ⑥ ①～⑤で不安を感じたら葬儀社を変更できる。

『こうしてあげればよかった』とか『無駄な費用をかけすぎた』など、後から思うことのないようにしましょう。

どこの葬儀社でするにしても、【より良い葬儀】【納得できた葬儀】をするために、事前相談をして、ゆっくり時間をかけて検討されることをおすすめいたします。

約束とお願い

☆ メモリアルホールは、自宅訪問、会員勧誘は致しません ☆

☆ 年中無休で営業しております ☆

☆ 一度、気軽にお立ち寄りください …。 ☆

《相談時間》 10:00～16:00（事前にご連絡頂ければ、時間外も対応致します）
突然来ていただいても結構ですが、式典中ってことがありますので
できるだけ前もって連絡してほしいです。

（来館の難しい方はご自宅等に伺わせていただきます）

座布団の正しい出し方

お客さんが多かった年末年始…座布団を出す機会も多かったのでは？
改めて座布団についておぼえましょう。

◇ 座布団の表裏について



座布団をよく見ると、中央にしめ糸があります。そのしめ糸の房があるほうが表になります。（房が両面についていたり、しめ糸がない座布団はどちらの面でもかまいません）

◇ 座布団の正面とは

正面は縫い目をみて判断します。四方のうち三方が縫い合わさっており、一方だけ縫い目がなく輪になってあります。この輪になってるほうが正面で座った時に膝がきます。

座布団は、お客さんをもてなす意味があります。そのためもてなしを受けるお客さんは、座布団に座るのを慎み、すすめられてから正座します。そこで、もてなす側は、『座布団をお使ください』と声をかけ、しばらくしてから『どうぞ足を楽にしてください』と配慮することが大切です。

葬儀社のなげき

“おくりびと”の映画でのワンシーン…
納棺師に転職してはじめてもらう給料が片手でした。それを見た友達が20年近く葬儀をしてる私にひとこと…『三桁（100万以上）はもらってるやろ』説明のしようがありません。一般サラリーマンより少ないです（厳しい現実……）

編集後記

葬儀の経験は豊富ですが、このような通信文はみんな大の苦手です。誤字・脱字・読みにくいのは承知しております。どうか許してください。これに懲りず、2号も出す予定です。今年も、どうぞよろしくお願い致します。かわら版は、あくまでかわら版です。営業では、ありません。

合 掌